

北ノ川中学校区



目指す中学校卒業時(15歳)の姿

- 1 【自主】自分で考える生徒
- 2 【全力】あきらめない生徒
- 3 【友情】人を大切にする生徒



取 り 組 み

- 1 授業スタンダードの共有
 - (1) 先生や友だちの話をしっかりと最後まで聴く。
 - (2) 資料（文章）の内容を把握しながら読む。
 - (3) 自分の考えをまとめ、みんなの前でわかりやすく発表する。
 - (4) 仲間との意見交換のなかで話し合いを深め、まとめ(集約)ができる。
- 2 小中の職員間の連携
 - (1) 1回は異校種の授業見学を行う。（様子を知ることからスタート）
 - (2) 中学校の専門教科で、積極的な乗り入れ授業を行う。（美術・体育・音楽 等）
 - (3) 小中一緒にできる行事等を増やす。
実施：PTA行事、人権講演会、運動会、文化祭、地域防災訓練
計画：あいさつ運動、福祉活動、総合学習、合同長休み交流 等
 - (4) 合同校内研を定期的に行う。（共通のテーマで学習・実践へ）
 - (5) 個人データの引き継ぎ。（9年間の歩みを一元化）
 - (6) 校務分掌（総合、人権教育、研究主任など）の連絡会を行う。
 - (7) 児童生徒の情報交換などの話し合う機会を定期的に行う。（情報の共有）
- 3 小中で同一の価値観を9年間かけて育てていく

自分がどんな人間になりたいかイメージできるよう、成長に応じたキャリア教育を計画的に行う。



小中連携教育のねらい

- 1 小学校・中学校9年間を見通した教育活動を行うことで、生活面や学習面での中1ギャップを軽減し、繋がりのある学校生活を送らせる。
- 2 異年齢集団の交流を通して、豊かな情操を育み、コミュニケーション力の向上を図る。



現 状 と 課 題

- 1 小学校低学年から、学力的に個別支援の必要な児童がいる。
- 2 保小中とトンネル型の小集団がゆえに、他者の成長を受け入れ相手の気持ちを思いやる“心育ち”が十分にできていない。